



2020

公益社団法人 長井青年会議所

基本資料・事業計画

並びに収支予算書

## 基本理念

# 今日の自分を超えていこう ～地域に好循環を生み出すために～

## 基本方針

- ・未来を担う子どもたちの健全育成を図ろう。
- ・想いを持って行動し地域に求められる団体になろう。
- ・会員拡大を実行し組織力の強化を図ろう。
- ・成長のチャンスを活かし、組織と地域の発展に繋げよう。

## 重点事業

- ・「自分で考える力」を育み子どもたちの可能性を広げる 青少年育成事業
- ・地域を想い行動する仲間を増やし組織強化を図る 会員拡大運動
- ・地域に必要とされる人財を育てメンバーの資質向上を図る 人財育成事業
- ・創立 55 周年記念式典及び祝賀会
- ・第 68 回東北青年フォーラム in 南陽並びに第 53 回山形ブロック大会高畠大会  
に対する参画・支援

# 公益社団法人長井青年会議所 2020年度 未来創生委員会 基本計画書

- 理事長 齋藤圭央
- 専務理事 横澤吉紀
- 副理事長 吉川明紀
- 委員長 四釜靖之

## 1. 基本方針

次世代を担う子どもたちは地域の宝です。心身ともに健やかに成長することは全ての大人たちの願いであり、私たち未来創生委員会が取り組むべき担いです。「まちづくりはひとづくり」と言われるように、活力あるまちづくりを行うには、子どもたちの健全な成長が重要になり、どちらかがかけても成り立ちません。子どもたちと私たち、そして地域が成長していく為に未来創生委員会では3つの事業を軸に1年間活動してまいります。

まず1つ目は、子どもたちの心の成長を図るために、多くの価値観を学び、多様性を受け入れることができる場を創出します。多様性を受け入れ、自分とは違う立場、考えの人がいるという事を知ることは、考える力を育むことに繋がり、自分で考え答えを見出すことができればどんな困難にぶつかっても自分で解決できる力が身につくものと考えます。ネットでは体験できないふるさとの魅力を肌で感じられ、子どもたちの記憶に深く残る事業を行うことで愛郷心を育む場を創出します。

2つ目に、メンバーの学び・気付きの場として資質向上を目的とした事業を開催します。長井青年会議所はこれまで他団体と様々な事業を通じ、たくさんの学びを共有してまいりました。今後私たちが多くの同志とより良い社会実現の為に、「結」の精神の向上を図り、団体の垣根を超えた学びの機会を創出してまいります。

3つ目に、試合出場経験の少ない1・2年生を中心に、JC杯中学野球大会を開催します。大会を通して感謝の心や社会性を養い、試合を通じて自己分析力・課題解決力を身につけ、心身ともに成長できる場を創出します。青年会議所の想いをしっかりと継承し、参加する生徒だけでなく、親や学校、運営に携わる全員が事業を通して気付きのある大会運営を行ってまいります。

これらの事業では、未来を担う子どもたちの成長だけでなく、私たちメンバーや事業に関わるたくさんの大人たちが学びや気付きを得ることで、地域に好循環を与えることができると確信しています。委員会メンバー一同協力し、地域の未来を創生できる事業を展開してまいります。1年間よろしくお祈りいたします。

## 2. 事業目的

- 1、子どもたちの「自分で考える力」を醸成する。
- 2、地域社会に携わることで子どもたちの愛郷心を育む。
- 3、メンバーの資質向上と「結」の精神の向上を図る。

## 3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所
青少年育成事業	ふるさとに対する様々な価値観を認め合い、子どもたちの心の成長を図る。	8月、11月
人財育成事業	他団体と連携し、「結」の精神の向上を図る。	3月
フラワーボランティア事業	花植えによって綺麗な景観をつくる。	6月
第29回JC杯中学野球大会	実戦経験の少ない子どもたちを中心とし、今後の目標や課題を見つける機会を提供する。	10月

# 公益社団法人長井青年会議所 2020年度 創立55周年実行委員会 基本計画書

- 理事長 齋藤圭央
- 専務理事 横澤吉紀
- 実行委員長 小関幸一
- 副実行委員長 梅津拓郎

## 1. 基本方針

1966年に長井青年会議所が誕生して55年。これまで青年会議所では地域課題の解決に向けてたくさんの事業を起し「明るい豊かな社会」の実現のために運動を続けてまいりました。青年会議所という名前が持つ信頼と実績は、多くの先輩方が積み重ねてきた運動と、地域の方々の理解と協力があつたからこそ得ることができたものであり、そのおかげで今私たちはとても恵まれた環境で活動することができています。これからも地域に必要とされる団体であり続けるためにメンバー一丸となって新たな歩みを進めてまいりましょう。

創立55周年実行委員会では記念式典・祝賀会の企画運営を軸に事業を行ってまいります。50周年を経験していないメンバーが増えてきた今、歴史と想いを次代に繋いでいく意味でも節目となる式典や祝賀会は大切な事業です。私たちが知らないこれまでの運動や事業にまつわるたくさんの経験を共有し、日頃よりお世話になっている行政、関係諸団体の皆様、先輩諸兄姉の皆様へ感謝の気持ちを持って最高のおもてなしができるよう努めてまいります。

記念式典・祝賀会だけでなく、今後も効果的な事業を起していくためにはメンバーの力は欠かせません。会員の減少はどの地域でも課題となっている今、会員拡大は長井青年会議所に求められる急務であり、会を存続し効果的な事業を行っていく上で最も必要な運動です。多くの仲間と創立55周年事業を迎え、「明るい豊かな社会」の実現に向けて運動の価値をより高めるために、確実な会員拡大を実行してまいります。

最後に、私たちの事業を通じてメンバーの絆が深まり、未来に向けた更なる飛躍の年にするをお約束します。1年間皆様のご協力をよろしく願います。

## 2. 事業目的

- 1、55周年の歴史と伝統を誇りに新たな時代に向けた姿勢を示す。
- 2、行政、関係諸団体、先輩諸兄姉に対し感謝の念を表す。
- 3、持続可能な青年会議所のために確実な会員拡大を実行する。

## 3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所
創立55周年記念式典並びに祝賀会	長井青年会議所らしい設えで行う感謝が伝わる記念式典並びに祝賀会の実施	6月
会員拡大事業	会員拡大に向けた交流事業の実施	2月
会員交流事業	会員同士の交流を通し団結力を高める事業	4月

# 公益社団法人長井青年会議所 2020年度 事務局 基本計画書

- 理事長 齋藤圭央
- 専務理事 横澤吉紀
- 事務局長 牛澤栄一
- 事務局次長 齋藤憲幸

## 1. 基本方針

今年度、長井青年会議所は創立55周年を迎えます。創立以来多くの夢と感動を残し、地域と共に「明るい豊かな社会」の実現を目指して参りました。現在、社会・経済・情報環境が大きく変化している中で、今後我々が地域社会からさらに求められる組織になっていくには、魅力的な組織へ進化することが重要になると考えます。それにはメンバー個々が何事にも意欲的に取り組み新しい価値を創造し、地域社会により良い変革を与えられるリーダーに成長していかなければなりません。

事務局では常任理事会、理事会の運営は勿論、総会や例会、LOM内における庶務、各種渉外や各種取りまとめ、そして組織の一体化に取り組んでいきます。特に理事会においては、理事メンバーがスムーズ且つ十分な意見が飛び交う活発な会議をするため、時間管理に重点を置き、出席の促進、資料の事前配信を徹底します。また、各種大会、会議、その他対外行事の目的や意義をメンバーに丁寧に伝え参加推進を行うことで、活動に対する意識向上を図ります。特に第53回山形ブロック大会高島大会、第68回東北青年フォーラムin南陽と置賜において開催される大会に積極的な参画を促しこの貴重な経験をメンバーと共有していきます。置賜4JC合同例会では、JAYCEEとしてのスキル向上と会員相互の交流の為に開催されてきたその趣旨と想いを受け継ぎ、事業を構築し長井青年会議所らしい設えで、置賜4JCの繋がりをより強固なものにしていきます。ホームページ運営では、委員会と連携し長井青年会議所全体で情報の発信、魅力を地域社会に伝えられるよう全力でサポートしていきます。

最後に、長井青年会議所が地域社会とのつながりを大切に、地域に根ざした求められる組織となるため、メンバーへの積極的なサポートと円滑な組織運営に全力で取り組んでいきます。どうぞ1年間よろしくお祈りします。

## 2. 事業目的

- 1、LOM内の円滑な運營業務・各種とりまとめを行う。
- 2、対外的なJC活動の情報発信と活動に対する内外の意識向上をサポートする。
- 3、置賜4JC合同例会にて会員相互の親睦と資質向上を図る。

## 3. 事業計画

事業名	事業内容	日時・場所
新春賀詞交歓会	新春賀詞交歓会の実施	1月
次年度理事長候補者所信(案)発表例会	次年度理事長候補者による所信発表を行う例会	9月
置賜4JC合同例会	置賜4JC合同例会の実施	10月
卒業式	卒業式の実施	12月
ホームページ運営	ホームページの運営・管理	通年

公益社団法人長井青年会議所  
2020年度正味財産増減計算書 当初予算  
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位:円)

科目	2020年度 当初予算	2019年度 12月補正予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	50,000	10,000	40,000	
受取入会金	50,000	10,000	40,000	¥10,000×5名(新規会員数)
受取会費	1,760,000	2,278,111	△ 518,111	
正会員会費	1,620,000	2,158,111	△ 538,111	¥90,000×15名(年初会員数)+年度内入会者分¥67,500×2名+¥45,000×3名(月割による)
特別会員会費	100,000	80,000	20,000	¥20,000×5名(卒業生より)
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	27,000	760,500	△ 733,500	
登録料収益	25,000	679,000	△ 654,000	JC杯中学野球大会登録料¥25,000: ¥5,000×5校
広告料収益	0	0	0	
販売収益	2,000	81,500	△ 79,500	JC杯中学野球大会パンフレット収益¥2000: ¥100×20部
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	420,000	560,000	△ 140,000	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	400,000	540,000	△ 140,000	補助金¥400000
地方公共団体助成金	20,000	20,000	0	フラワーボランティア謝礼金: ¥20,000
民間助成金	0	0	0	
受取負担金	150,000	0	150,000	置賜JJC合同例会¥50000×3LOM
受取負担金	150,000	0	150,000	
受取寄付金	24,243	95,000	△ 70,757	
受取寄付金	24,243	95,000	△ 70,757	JCカード還元金¥24,243
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取利息収益	0	0	0	
その他の雑収益	0	0	0	
<b>経常収益計</b>	<b>2,431,243</b>	<b>3,703,611</b>	<b>△ 1,272,368</b>	
(2) 経常費用				
事業費	1,894,298	3,059,578	△ 1,165,281	
地域開発事業	286,980	1,951,880	△ 1,664,900	
青少年育成事業	815,980	407,209	408,771	
公益事業共通	151,528	215,950	△ 64,423	
内部例会及び会員交流系事業	343,150	310,282	32,868	
広報系事業	102,830	91,427	11,403	
その他組織運営に関する事業	193,830	82,830	111,000	
収益事業等共通	0	0	0	
科目	2020年度 当初予算	2019年度 12月補正予算	増減	備考
管理費	536,946	751,920	△ 214,975	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	25,000	50,000	△ 25,000	香典・弔電・花代: ¥25,000
会議費	14,240	14,240	0	1月総会会場使用料: ¥3,240、会場使用料: ¥11,000
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	9,000	9,000	0	送料、切手代、ゆうメール: ¥9,000
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	38,185	41,784	△ 3,599	スローガン看板: ¥18,000、会員ネームプレート・バッジ: ¥4,037×5名
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	0	120,000	△ 120,000	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	30,000	20,000	10,000	JCルームの賃借料 ¥360,000: ¥30,000×12ヶ月
保険料	4,200	8,400	△ 4,200	ボランティア活動保険: ¥280×15名(年初会員数)
委託費	136,830	134,430	2,400	長井商工会議所事務員¥440,000 ホームページ¥96,600 合計: ¥536,600
租税公課	1,000	1,000	0	謄本代: ¥1,000
支払負担金	193,688	283,650	△ 89,963	JC負担金¥17,840: ¥892×15名(年初会員数)+¥892×5名(新規会員数) 日本JC負担金¥117,500: ¥30,000(基本金)+¥5,000×15名(年初会員数)+¥2,500×5名(新規会員数) 地区協議会負担金¥37,500: ¥5,000(基本金)+¥1,500×15名(年初会員数)+¥10,000×1名 東北ゼミナール出向者 ブロック協議会負担金¥85,000: ¥10,000(基本金)+¥5,000×15名(年初会員数) 国際協力資金¥27,375: ¥1,825×15名(年初会員数) 日本JC出向者負担金¥0: ¥20,000(基本金)×0名 We Believe購読料¥60,000: ¥3,000×15名(年初会員数)+¥3,000×5名(新規会員数) JC支払負担金総計: ¥345,215
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	45,000	45,000	0	関係団体年会費、電報他: ¥45,000
雑費	39,803	24,416	15,387	予備費(振込手数料他)
<b>経常費用計</b>	<b>2,431,243</b>	<b>3,811,498</b>	<b>△ 1,380,255</b>	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 107,887	107,887	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 107,887	107,887	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 107,887	107,887	
一般正味財産期首残高	2,085,445	2,193,332	△ 107,887	
一般正味財産期末残高	2,085,445	2,085,445	0	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,085,445	2,085,445	0	

※前年度予算額は、12月理事会で承認された補正予算額である。